

令和6年度 自己評価結果

学童保育を行う上で重要な「子どもを尊重する」ことや「子どもの人権擁護」について改めて意識を高め、日常の保育を振り返り、自己の問題解決を図ることによって、学童支援員としての専門性を高めることを目的としています。今回学童支援員4名、補助員1名、合計5名が回答し、集計しましたので、結果を公表いたします。なお、評価は4,3,2,1の4段階です。ちなみに1はありませんでした。（4:うまくできる 3:できることがある 2:うまくできない 1:できない）

【1】子どもとの関係作り	4	3	2	平均	気づき
①どの子にも、笑顔で挨拶するなどの声かけをしている	3	2		3.6	
②できるだけ子どもたちと過ごす時間をつくるようにしている	2	3		3.4	事務や保護者対応時以外は努力している
③挨拶を交わしながら、様子や健康状態を視診している	5			4	
④子どもの思いや考えを子ども同士が伝え合える場を大事にしている	2	3		3.4	
⑤どの子にも丁寧な言葉使いで接し、子どもの話を最後まで聴いている	4	1		3.8	
⑥自分が間違ったときは、子どもに対しても「ごめんね」などと謝るようにしている	4	1		3.8	
⑦どの子にも、「ありがとう」「助かったよ」などの感謝の言葉を伝えている	3	2		3.6	
⑧様々な人と関わる機会を持つようにしている	3	2		3.6	

【2】子どもの適切な行動に着目する	4	3	2	平均	気づき
①どの子にも適切な行動をした時には、「できているね」などと声かけをしている	3	1	1	3.4	
②目立たなくても適切に取り組む子どもに着目し、肯定的な声かけをしている	3	2		3.6	
③子どもの興味や目標を把握し、「がんばっているね」などと応援している	4	1		3.8	
④子どもの良さを積極的に見つけ、認めたり励ましたりしながら自信をもてるようにしている	2	3		3.4	
⑤子どもの意見や発想を受け止め、積極的に保育にいかしている	3	2		3.6	
⑥昼食準備や清掃などの活動を子どもとともにを行い、肯定的な声かけをしている	5			4	
⑦ 動物や植物の世話を大切にしている	5			4	

【3】生活規律やルールの定着	4	3	2	平均	気づき
①時間通りに始めるなど、自ら子どもたちのモデルとなるよう行動している	3	1	1	3.4	
②「～してはいけない」よりも、「～しよう」という声かけをしている	2	2	1	3	
③集団の中で適切な行動をしている子どもを認め、全体のモデルとしている	3	2		3.6	
④不適切な行動をしたときは、適切な行動が何かを子どもに問いかけて確認している	1	4		3.2	

【4】観察と連携した対応	4	3	2	平均	気づき
①子どもの表情やしぐさ、他者との関わり方などを観察し、変化をとらえている	4	1		3.8	
②共同作業になかなか取り組めない子どもでも、参加できる場面を用意している	2	3		3.4	
③他者との関わりの薄い子どもに、意図的に話しかけている	3	1	1	3.4	
④遅刻や欠席の多い子どもについては、職員・家庭などと連携し早めに対応している	4	1		3.8	
⑤子どもの変化について、職員間で情報共有を図り対応を検討している	5			4	

【5】トラブルや問題行動への対応	4	3	2	平均	気づき
①「何をやっているんだ！」よりも「どうしたの？」とまず子どもの話を聴いている	3	2		3.6	
②問題解決の優先順位を職員間で共有している	3	2		3.6	命、他への迷惑を優先
③問題行動を発見したら、他の先生や管理職にすぐ連絡している	4	1		3.8	
④三日間欠席が続いた場合は、家庭に連絡などをして本人の様子を把握している	3	2		3.6	

【6】保育環境について	4	3	2	平均	気づき
①保育室や園庭の安全確保に努めている	4	1		3.8	
②基本的な生活習慣が身につきやすい環境づくりに努めている	3	2		3.6	
③室内の整理整頓、衛生管理ができている	2	3		3.4	
④遊具の安全点検（破損、紛失など）の確認ができている	3	2		3.6	

【7】会議・研修	4	3	2	平均	気づき
①意見や考えを自由に発言できる雰囲気がある。	3	2		3.6	主任としてはそうありたいと努めている
②発言している人の思いや考えを受け止めながら聞いている	5			4	
③特別支援を要する子どもの実態を把握し、支援方法について共通理解している	4	1		3.8	
④研修で学んだ知識や技術を保育に活かしている	2	3		3.4	

【8】はすの実クラブ職員として	4	3	2	平均	気づき
①保育に入る前と勤務終了時は保育記録を必ず読み、必要なことは書き込んでいる	5			4	
②職員間で情報の共有や申し送り、引継ぎを行っている	5			4	
③遊びや生活の場面で、自分が果たすべき役割を理解している。また、職員間の協力・連携ができる	4	1		3.8	
④職員間で子どもの様子や問題を話し合っている	4	1		3.8	
⑤提出物（研修報告書、有休希望）の締め切り日を守っている	3	1	1	3.4	
⑥出勤したらお内仏（御仏様）にお参りしていますか	2	3		3.4	
⑦お寺の法要や同朋会など、自分を見つめなおすための時間に積極的に参加していますか	1	3	1	2.4	
⑧当クラブがお寺の学童だということを十分理解したうえで、いつも、御仏様を意識して、子どもと一緒に過ごしていますか		4	1	2.8	

【9】保護者との関わり	4	3	2	平均	気づき
①個人情報にかかる文書は、封筒に入れて渡している。回収にも気をつかっている	4	1		3.8	
②子どもの気になる様子や頑張っていることについて常に保護者と連絡を取り合っている	3	2		3.6	些細な事でもお伝えしようとしているが、それを保護者がどう感じているのか、気になる時がある
③わかりやすい文書やお便りを作成するよう心がけている	4	1		3.8	

【10】こんなことはありますか？（「はい」か「いいえ」に○をつけてください）	はい	いいえ	気づき
①名前を「ちゃん、くん」等、区別して呼んでいる	1	4	できるだけ「さん」で統一しているがたまに「ちゃん」で呼ぶこともある
②特定の子どもに声をかけることが多い	1	4	
③男女に分けて行動させことが多い		5	自然とや、場合によっては男女別になることもある
④服装や髪型、持ち物を自分の好みでほめることが多い		5	
⑤職員が一方的に話すことが多い		5	
⑥ものごとを決めつけて考えたり話したりしている		5	
⑦研修会への参加に消極的である		5	逆にもっと参加したい
⑧物事を話し合うことなく、自分で決めている		5	
⑨個人情報に関わる文書等を机の上に置いたままにしている		5	
⑩家庭状況の違いで子どもや保護者への接し方が異なっている		5	
⑪名簿は、男女混合にしている	5		

【考察】

・昨年はこどもとの関係づくりに関しては物足りない面もあったが、その反省を踏まえ、今年度は全職員こどもに寄り添って関わられた。また、職員間の報告、連絡、相談も行われ、チームワークは出来ていると思う。この雰囲気でこれからもこどもの気持ち第一に考え、こどもたち、保護者にとって安心・安全に通える学童であるように努めていきたい。